

## 令和8年1月20日亀岡市教育委員会会議録

- 1 開会 午後2時00分  
閉会 午後3時00分

### 2 出席委員

|         |          |
|---------|----------|
| 川 勝 哲 也 | 教育長      |
| 北 村 真 也 | 教育長職務代理者 |
| 末 永 礼 子 | 委 員      |
| 出 藏 裕 子 | 委 員      |
| 秋 山 伸 夫 | 委 員      |
| 松 浦 千 弘 | 委 員      |
| 野々村 誠 一 | 委 員      |

### 3 欠席委員

なし

### 4 出席事務局職員

|         |                 |
|---------|-----------------|
| 中 川 秀 和 | 教育部長            |
| 飛 田 祥   | 次長兼総括指導主事       |
| 数 井 智 之 | 教育総務課長          |
| 今 西 恵 一 | 学校教育課長          |
| 黒 田 貴 子 | 学校教育課教育支援担当課長   |
| 小 林 秀 範 | 社会教育課長          |
| 森 岡 智 子 | 社会教育課人権教育担当課長   |
| 岩 崎 盛 雄 | 学校給食センター所長      |
| 西 山 寛   | 図書館長            |
| 大 石 利 之 | みらい教育リサーチセンター所長 |
| 榎 本 祐 輔 | 教育総務課総務係長       |

### 5 傍聴者

なし

### 6 議事の概要

#### (1) 開会

○教育長が開会を宣言

#### (2) 前回会議録の承認

令和7年12月16日に開催した定例会の会議録を確認し承認した。

### (3) 教育長からの報告

○教育長から以下の報告があった。

#### ◎亀岡市関係

- ・12月18日、小・中・義務教育学校長会議で学校長へ指示を行った。
- ・12月21日、蒔田野町子ども「心の教育」事業として、大谷高校グラウンド見学及び餅つき大会に参加した。
- ・12月21日、台湾でのスタディアブロードプログラムの報告会に出席した。
- ・12月22日、令和7年亀岡市議会定例会12月議会が休会。
- ・1月5日、令和8年仕事始めの式。同日、新春年賀交歓会に出席した。
- ・1月9日、小・中・義務教育学校長会議で学校長へ指示を行った。
- ・1月10日、亀岡市老人クラブ連合会新春会長・役員会に出席した。
- ・1月11日、令和8年亀岡市消防出初式に出席した。
- ・1月12日、令和8年亀岡市はたちの会が開催された。
- ・1月17日、亀岡市PTA連絡協議会研究大会に出席した。
- ・1月18日、亀岡市障害児者を守る協議会が主催する「はたちの集い・新年を祝う会」に出席した。
- ・1月20日、亀岡小学校及び亀岡中学校の学校訪問を行った。

#### ◎国・府等の関係

- ・1月16日に市町村教育委員会研究協議会（オンライン）に参加した。

### (4) 報告事項

- ① 市町村教育委員会研究協議会について [教育総務課]
- ② 令和7年度卒業式、令和8年度入学式の日程について [学校教育課]
- ③ サイエンスフレンズ天体観望会について [みらい教育リサーチセンター]

○各課長等からの報告を受けて、委員から次の意見があった。

<市町村教育委員会研究協議会に出席しての感想>

野々村 委員      冒頭文部科学省から、給特法の改正により、主務教諭の創設、調整額の変更、総合教育会議で働き方改革を議題にし公表することなどの説明があった。事業については、ビルドアンドビルドだけではなくビルドアンドスクラップに努めていただきたいと話があった。教職員の働き方改革の研究分科会では、泉佐野市、貝塚市、東大和市と同グループであったが、不登校など現場の課題が増大する中で、長時間勤務の軽減について保護者や地域の方へ理解を働きかけていく必要があると話がされ、また、

電話対応の録音を始めている市もあった。後半の研究分科会の公立小・中学校の適正規模・適正配置については、鹿沼市の方と二人でのグループであったが、お寺の住職で小児科の医師もされておられ、これから学校規模適正化を考えていくとのことで、亀岡市の義務教育学校の取組を聞いていただいた。田舎では地元の方にも様々な不安があるようで、亀岡市のバス送迎の取組も紹介したところ、行政サービスとしてどこまで提供しなくてはいけないのか今後勉強していきたいと話されていた。最後に文部科学省から、学校規模適正化については、地域性を考慮する中で、学校を減らすことを目的とするのではなく、統合することが子どもたちにとってより効果があるという点をだして進めてほしいとのことであった。

末 永 委 員

教育委員会の機能強化・活性化についての研究分科会では、狛江市の事例として、教育行政が専門の人材を教育政策監として任用し、適宜アドバイスをもらうなど教育委員会の機能強化に努めている。教育委員会議をした後に個別案件の協議の場を設けているともあった。また、狛江市のその教育委員は様子を見に放課後学校へよく行き、現場の先生と会話して情報収集されていると話されていた。本日、学校訪問で久しぶりに現場に行ったが、学校の状況を知るためにはもっと学校訪問の回数があってもよいのではないかと思った。狛江市は準要保護家庭が1件しかないが、隠れている部分を見逃さないようにしたいと言っていた。二つ目の研究分科会の公立小・中学校の適正規模・適正配置について、特に計画も予定もない市が多く、亀岡市の取組を発表した。

川 勝 教育長

学校規模適正化では、複式学級はやめるべきとの意見がある一方で学校はなくさないでほしいとの声もあり、統合は難しいと話されていた。育親学園の取組を紹介したところ、関心をもって聞いていただいた。急な欠席が多く、ズームの会議に限界があるよう感じ、また、共通的な課題を抱えている自治体と同じグループ設定をしてもらえたらなおよいと思ったところである。

<令和7年度卒業式、令和8年度入学式の日程について>

秋 山 委 員

卒業式や入学式の告示について、毎年そのときの状況を反映して見直しを願いたい。

川 勝 教育長

私のほうでチェックさせていただく。

○次回の教育委員会について案内

日時：令和８年２月１７日（火）１４時から

場所：教育委員会室

（６）閉会

○教育長が閉会を宣言

以　上

○委員

○委員

○委員

○委員

○委員

○委員

○教 育 長

(調整者 教育総務課長 )